

| | | | |
|-----------|--|-------|-------|
| 講義名 | 社会保障論 | | |
| 科目区分 | 学部フリーゾーン | | |
| 担当教員 | 中島 孝子 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 前期 火曜日 3時限 | | |
| | 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / | | |
| 履修開始年次 | 2年生 | 単位数 | 2 |
| | | 講義コード | 23075 |

主題と概要

社会保障制度の中で、医療保障、民間保険、社会福祉、および社会手当制度に焦点をあて、これらの項目に関する日本の制度の基本的事項を確認し、それらの問題点を学習します。社会保障論Ⅰ(上瀬真生先生担当)とあわせて受講することによって、社会保障論の基本的事項を身につけることを目指します。

到達目標

保険の仕組みおよび民間保険の概要、課題について理解する。
 医療保険制度の考え方や概要、課題について理解する。
 介護保険制度の考え方や概要、課題について理解する。
 社会福祉制度と社会手当制度の考え方や概要、課題について理解する。

提出課題

提出課題として、宿題を課します。ミニレポートを課することがあります。詳細は授業中に指示します。

評価の基準

成績は100点満点で評価し60点以上が合格です。
 配分は定期試験70%、平常点30%(提出課題を含む)です。
 昨年度は履修登録者の79%が定期試験を受験し、その81%が合格しました。

履修にあたっての注意・助言他

難しい点やわかりにくい点がある場合には、オフィスアワー等を利用して積極的に質問してください。
 テキストを使って講義前に予習することを推奨します。
 社会保障論Ⅰを履修していることが望まれます。

教科書

・「社会福祉学習双書2019 6 社会保障論」・ 「社会福祉学習双書」編集委員会 全国社会福祉協議会 / 編 議会 ¥2400

プリント資料及び参考文献

授業ではプリント資料を配布します。以下は、教科書の他に、本科目における学習や理解において有用な文献です。
 棕野美智子・田中耕太郎「はじめての社会保障(第15版)」有斐閣 2018年

授業計画

- 1 公的保険と民間保険(第5章) (1)現代社会と保険制度
- 2 公的保険と民間保険(第5章) (2)所得保障と企業年金・個人年金
- 3 公的保険と民間保険(第5章) (3)生活リスクと民間保険の役割
- 4 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (1)医療保障制度の沿革と近年の改革
- 5 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (2)医療保障制度の種類
- 6 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (3)医療保障制度の給付
- 7 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (4)保険医療制度
- 8 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (5)医療提供体制と国民医療費
- 9 介護保険制度の概要(第8章) (1)介護保険制度の創設と意義
- 10 介護保険制度の概要(第8章) (2)介護保険制度の内容
- 11 介護保険制度の概要(第8章) (3)介護保険制度の課題
- 12 社会福祉制度の概要(第10章) (1)社会福祉制度の概要
- 13 社会福祉制度の概要(第10章) (2)生活保護制度の概要
- 14 社会手当制度の概要(第11章) (1)社会手当の意義
- 15 社会手当制度の概要(第11章) (2)児童扶養手当

予習・復習

毎回の授業後、次回までに復習をしてください。
 テキストを使って事前に予習することを推奨します。
 予習と復習をあわせ、1回の授業で4時間が目安です。

備考